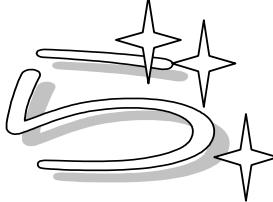


さ

ら



令和7年10月10日（金）

◆学校教育目標「ともに高め合う きららの子」

「1 学期末学校評価のまとめ」から

1 学期末には、学校教育活動アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。学校では学校評価の結果を分析し、今後の教育活動に生かしていく方法を考えました。アンケートの詳しい結果は裏面に掲載しておりますので、御覧ください。

1 進んで 學び合う子

「考えたい・調べたい・やってみたい」と主体的に学ぶ意欲をもつ児童が増えました。これは、本年度の研究主題に基づき、ICTを活用した話し合いや意見共有の場を多く設定したことによる成果です。ICTを活用した振り返り活動や、対話的な授業づくりを進めたことが、学習意欲の向上につながりました。

2 読書活動の充実

「本を読むことを楽しんでいる」が児童65%、保護者でも約70%の評価でした。学校図書館では一度あたりの貸出冊数を2冊に増やし、毎週火曜を「家庭読書の日」とした取組やきらら応援団による読み聞かせ活動の定着、そして学校図書館の蔵書の充実が子供たちの読書への意欲を高めています。御家庭においても子供たちと一緒に読書を楽しんでいただけた幸いです。

3 整理整頓・安全の意識

「整理整頓」や「安全の意識」項目で児童に比べ保護者と教職員の評価に差があり、児童の意識に課題があることが、明確になりました。廊下での安全面、机上の整理など、生活面の意識を高めていきます。御家庭でも「生活四目標（あいさつ・時間・整理整頓・安全）」に基づく働きかけの継続をよろしくお願いします。

4 あいさつと優しい言葉

「あいさつ」「ふわふわ言葉」の取組が継続的に成果を上げ、児童・保護者ともに9割以上が「できている」と回答しました。児童会を中心とした呼びかけが効果を上げています。御家庭でも、子供たちと地域の方々へのあいさつの推進をお願いします。

5 生活習慣（早寝早起き）

健康な生活の基盤となる生活習慣です。昨年度と比べると、保護者の皆様の意識の高まりを感じられます。睡眠時間の実態を把握し、生活習慣チェックを行ったり、「保健だより」で眠育の推進を図ったりしてさらに改善を進めていきます。それらを活用し、御家族でもよりよい生活習慣づくりをお願いします。

6 葦山南小をよりよくするための建設的な御意見

保護者の皆様が日頃感じていることをお知らせいただき、ありがとうございます。御意見を寄せていただいたことで、改善の方向に進むことも増えています。

〈タブレット端末の活用〉

タブレット持ち帰りは、重さという課題を認識しつつも、緊急時の安心や学びの継続という大きなメリットがあるため継続します。特に今年度は7月30日の津波警報の時、担任とつながることができ安心することができたという声が子供たちから聞かれました。こうしたよさを生かして使うために、御家庭でも、「葦山南小学校タブレット端末の使い方」に沿って見届けをお願いします。また、タブレット端末と紙の学習を併用し、発達段階に応じて、より主体的に学べる環境を整えます。

〈体育着への着替え〉

毎日着替えることには「気持ちの切り替えがしやすい」「活動に適した服装で過ごせる」といったメリットが多いことが確認されました。デメリットも踏まえた上で、教育的効果を重視し、今後も毎日体育着に着替える方針を続けます。御理解と御協力をお願いします。

〈運動会について〉

「すべての子どもが主役」として活躍できる、子供中心の運動会としていきます。土曜日開催で順延になると、御家庭の事情などで参加できない児童が生じることもありますので、平日の運動会を継続します。

〈行事・その他について〉

現代の学習指導要領では、社会の変化に対応するため、子供の「主体的な学び」を重視した教育へと大きく変わっています。行事計画については新たな時代に対応できる子供たちの育成のため、よりよい方法を考える協議を重ねて教育課程を作成します。

おわりに

保護者の皆様の御理解と御協力により、子供たちは安心して学び、互いに認め合う学校生活を送っています。今後も「ともに高め合う きららの子」の実現に向けて、家庭・地域・学校が連携して教育活動を進めていきたいと思っています。引き続き、御家庭での温かい御支援をよろしくお願ひいたします。

(文責:教務 佐藤)